

# 人権ネットニュース 第21号

2003年2月25日発行

編集発行：人権資料・展示全国ネットワーク事務局  
大阪人権博物館  
福山市人権平和資料館  
福岡県人権啓発情報センター  
柳原銀行記念資料館  
水平社博物館

## 第8回人権ネット総会に向けたアンケートの実施について

鳥取県で開催する第8回人権ネット総会に向けまして次のようなアンケートを実施する予定です。

昨年の総会において提起された交流会のもち方につきまして、これまで通りの全体会とするのかそれとも分科会とするのか、また、どのようなテーマで意見交換するのか、みなさまのご意見をお聞かせください。アンケートは**3月中に発送**の予定です。また、追加項目がありましたら事務局までご連絡ください。

- Q1 人権ネットの総会への出席について
- Q2 Q1で、cとお答えになった団体にお訊きします。その理由をお書き下さい。
- Q3 これまでの総会の印象をお書き下さい。
- Q4 2003年度の総会&交流会(鳥取市にて11月中旬に開催予定)のうち、交流会を全体形式ではなく、分科会形式でおこなおうと考えていますが、いかがでしょうか。
- Q5 Q4のようにお考えの理由をお書き下さい。
- Q6 もし分科会形式でおこなうとすれば、どのようなテーマがよいと思いますか。
- Q7 年間の利用(来館)者数について。
- Q8 『人権ネットリーフレット』の現在の配付状況はいかがですか。
- Q9 『人権ネットリーフレット』は、おもにどのようにして配付されていますか。
- Q10 『人権ネットリーフレット』の今後について、どのようにお考えですか。

「人権ネット」施設紹介

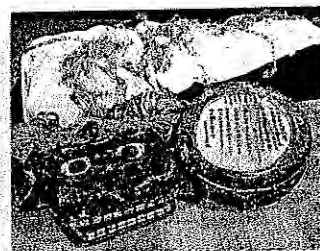
〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1-7  
 TEL (092) 584-1271  
 FAX (092) 584-1273

福岡県人権啓発情報センター

福岡県人権啓発情報センターは、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に関する資料、情報の収集及び提供を行うとともに、人権啓発活動を推進することにより、県民の人権意識の高揚をはかり、差別のない社会の確立に寄与することを目的に、1996年11月22日、福岡県の複合施設（福岡県総合福祉センター、福岡県女性総合センター、福岡県人権啓発情報センター）「クローバープラザ」7階にオープンしました。

施設は、常設展示室、特別展示室、啓発資料室、視聴覚研修室、会議室等を備えています。

常設展示室は、同和問題に関する歴史について、起源から現在までの解放への歩みを古文書や展示品（現物、複製）、音声や映像による解説などを配置し、来館者が自ら学習出来るよう構成しています。また、15名以上の団体には解説者を配置する取り組み（同和問題教室）も行っています。



特別展示室では、国内外の様々な人権問題を取上げた特別展を年2回とユニセフの協力を得た展示、小中学生の作品展示、市町村が作成した人権ポスター・チラシ、カレンダー、啓発冊子等の展示も行っています。特別展で作成したパネルは、県内外の自治体、団体等に無料で貸し出しています。

啓発資料室には、人権に関する図書と啓発ビデオを備え、その場で視聴出来るとともに無料で貸し出しています。また、全国の自治体や県内の自治体が作成した啓発冊子等も閲覧出来るようにしています。

視聴覚研修室は、人権啓発に関する研修及び講座、来館者へのオリエンテーション等を行っています。

これらの他に、各所帯へ配布する啓発冊子の作成、センターの事業を紹介する季刊誌の発行（年4回）や人権啓発ラジオ番組の放送（民放2局）、同和問題啓発強調月間講演会（7月）、人権週間講演会（12月）、館長出前講座等の取り組みも行っています。

【ご利用案内】

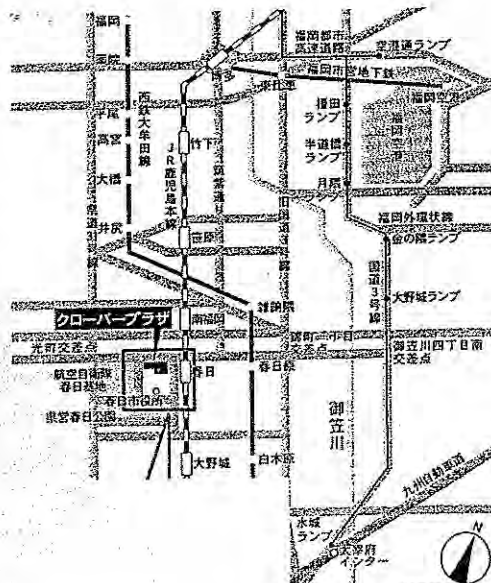
開館時間 午前9時30分から午後5時まで  
 （展示室入室は4時30分まで）

休館日 毎週月曜日  
 （月曜日が祝日の場合は、翌日）  
 年末年始  
 （12月29日～1月3日）  
 臨時休館日

入室料

	個人	団体(20名以上)
一般	200円	150円
高校・大学生	100円	80円
小・中学生	無料	無料

※65歳以上の方、障害者は無料。減免措置あり。詳しくは事務局へご相談ください。



## 奈良県立同和問題関係史料センター

古びた家の土蔵や屋根裏に大量の埃とともに眠っている古文書……被差別部落に残されてきた史料のみならず、被差別部落外の地域にも部落差別やさまざまな人権問題にかかわる史料が数多く存在しています。そして、めまぐるしく移り変わる時代のなかで、このような史料は絶えず散逸の危機にさらされています。

奈良県立同和問題関係史料センターは、こうした史料の収集・調査・研究をおこない、その成果を人権教育や啓発に活かしていくことを目的に様々な事業を進めています。これまでに約7万点の史料を収集することができましたが、そこには、部落差別にかかわる史料のみならず、被差別部落以外の多様な被差別民衆にかかわる史料も数多く含まれています。

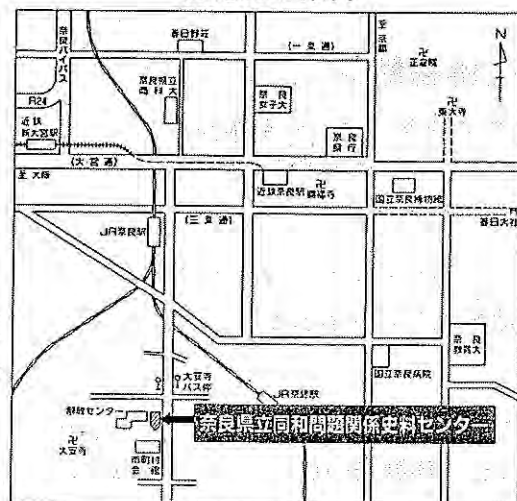
史料センターでは、これらの史料をもとに「部落史の見直し」を進めてきました。それは、従来の既成概念にとらわれず、数々の史料を読み込み、その意味を明らかにするなかから新たな歴史像を構築し、部落問題や様々な人権問題の解決への課題を探り出していく作業です。

こうした作業によって、部落問題解決のための課題は、政治や法や制度のなかにあるのではなく、被差別部落とそれを取り巻く地域社会の関係のなかにこそ見いだすことができること、部落問題を孤立した問題としてとらえるのではなく、日本社会に歴史的に存在した様々な被差別民に対する差別のなかに位置づけていく必要があることなどを提起してきました。

「部落史の見直し」作業の成果は、毎年、『奈良県同和問題関係史料集』や『研究紀要』として刊行しています。平成12(2000)年度にはこれまで進めてきた「部落史の見直し」作業の中間的なまとめとして『奈良の被差別民衆史』を刊行しました。

また、「部落史の見直し」の成果をより多くの皆様にお知らせし、人権問題への認識を深めていただくために、様々なテーマを設定した史料展示や、教職員を対象とした部落史学習講座、広く県民を対象とした県民歴史講座などの事業も行っています。

### 交通のご案内



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日  
年末年始の休日
- 交通 JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バス大安寺・シャープ前・八木・王寺行き乗車  
「大安寺」バス停下車、南へ200m
- ホームページ <http://www.pref.nara.jp/jinken/sitryou/siryocenter1.htm>

**<奈良県立同和問題関係史料センター> TEL 0742-64-1488**

☆テーマ展「歴史のなかの部落寺院－三業感乱の世界－」

期 間 2002年12月2日(土)～2003年3月31日(月)

ほとんど知られてこなかった江戸時代後期の西本願寺の三業感乱事件の際の大和の部落寺院と門徒たちの理念と行動を、奈良県の部落内外の浄土真宗寺院や本願寺資料研究所・龍谷大学等の所蔵資料で構成。

**<福山市人権平和資料館> TEL 084-924-6789**

☆企画展「人権と平和を求める子どもたち～解放子ども会と文化活動～」

期 間 2月19日(水)～3月16日(日)

人権を大切にする子どもたちの取り組みや、反差別、反戦・平和をめざす文化活動などの作品を紹介します。

**<大阪人権博物館> TEL 06-6561-5891**

☆企画展「ハンセン病者の闘い－隔離・地域社会・医療」

期 間 2月25日(火)～3月23日(日)

☆常設展示室「性と家族」の一部を展示替え

「性と家族」の入り口部分にあたる従来のを工事中のトンネルの造作物に展示替えしました。女性は月経や出産による出血によって「穢れたもの」とみなされ、宗教的な儀式の場や山岳信仰の場から排除されてきました。工事中の山岳トンネルでも穢れ観や、女性である山の神が嫉妬して事故を引き起こすなどという悪しき習慣によって入坑を拒否されてきたのです。このコーナーではトンネル工事を含め、私たち日常生活の中にあるさまざまな女人禁制の場面を考えます。



**<水平社博物館> TEL 0745-62-5588**

☆リニューアルオープンのお知らせ

本年1月28日、水平社博物館がリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは、全国水平社を支えた人物を各府県別に紹介し、全国各地から来館されるみなさまがより親しみを持って郷土の活動家や水平社運動について見学できることと思います。また、これから新しい世界を創造していく子どもたちが、遊びを通して楽しく人権を学び、人としての温かさや思いやりを身につけられる参加体験型の展示コーナーを設けています。

